

H29さがみはら森林ビジョン実施計画評価結果一覧表

【重点事項その1】6事業

シートNo.	事業コード	事業名 (目標値)	事業所管課による評価		審議会からの評価及び意見		審議会からの意見に対する 事業所管課の対応
			主な取組・実績	評価	事務事業に対する意見	評価	
1	3-1-1	「(仮称)相模原市市民の森」 整備事業 〔活動プログラムの検討 モデル事業の実施〕	ソフトの基盤を整備し、ソフト事業の展開を図るため、市とNPO法人自遊クラブとの間で、協働事業の協定を結び、様々な活動団体が集まれる場として、(仮称)相模原市市民の森クラブを設立し、森林体験活動プログラムの検討を行い、平成29年11月に森林体験イベントを1回実施した。	A	目標を達成できており、計画どおり進められている。今後も活動を通じて、森林の大切さはもとより、ルールやマナーなどについても啓発を行ってほしい。	A	今後も「(仮称)相模原市市民の森基本計画」に基づき、森林体験プログラムの検討、試行等のソフト事業を展開してまいります。また、事業の展開の中で、森林のルール、マナーの啓発に努めてまいります。
2	3-3-1	企業の森の拡大 〔企業の森面積 116.8ha 企業の森件数 9件〕	市ホームページ内の森林情報サイトから県の「森林再生パートナー制度」にリンクを張り、周知を行うとともに、NPO法人自遊クラブとの協働事業により、市内の企業182事業所への企業の森への関心や参加意向などに関する意識調査を実施するなど、企業への啓発に努めたが、市内の企業の森は7件89.3haとなり、目標達成には至らなかった。	B	目標の達成には至っていないが、今後、取り組むとされている市独自の企業の森の検討に期待する。	B	市独自の制度の構築に向けて取り組んでまいります。
3	4-1-1	津久井産材素材生産量の拡大 〔津久井産材素材生産量 3,200m ³ 〕	平成29年度の素材生産量は、3,924m ³ と目標値を上回ったが、県の大規模な水源協定林の整備が平成28年度で終了したため、昨年の実績を下回る結果となった。「津久井産材利用拡大協議会」では、津久井産材産地証明制度の運用開始など、津久井産材の知名度の向上と利用拡大に向けて支援を行った。また、公共施設への津久井産材の利用の促進に努めたほか、市ホームページを通じて地域型住宅グリーン化事業などの周知・啓発を行った。	A	実績は目標値を上回っており、引き続き取組に期待する。津久井産材の利用拡大に向けては、搬出の促進につながる支援のあり方についても検討が望まれる。	A	引き続き、津久井産材の利用拡大に向け、事業者等と連携した取組を進めるほか、搬出の促進につながる支援のあり方について、検討を行ってまいります。
4	5-1-1	水源の森林づくり事業 〔管理された森林面積 7,350ha 進捗率 75.3%〕	間伐、枝打ち作業及び作業用通路の設置などを実施したが、森林整備の実績面積6,709ha、実績進捗率68.7%と目標値には達することができなかった。	B	適切な森林整備が進められているが、目標の達成には至っていないため、引き続き、林業事業者等と連携し、事業の推進に努められたい。	B	林地台帳の活用による施業集約化の支援などを通じて、森林組合及び林業事業者等と連携し、事業の周知やニーズの掘り起こしに取り組むとともに、適切な森林整備の拡大を図ってまいります。
5	5-1-1	地域水源林整備事業 〔整備面積 148.3ha(市有林) 21.0ha(私有林)〕	神奈川県が策定した「第3期かながわ水環境保全・再生実行5か年計画」(平成29～33年度)(以下「第3期5か年計画」)に基づき、本市が設定した森林整備に係る市有林整備事業の推進等の事業目標については、概ね計画どおり実施することができた。ただし、私有林整備については、整備要望が無かったため実施に至らなかった。	A	市有林整備については概ね順調な取組であると認められるが、私有林の整備については、引き続き、林業事業者等との連携を図りながら、森林所有者への周知啓発に取り組まれたい。	A	市有林については、引き続き適切な管理に努めてまいります。私有林の整備については、森林組合、林業事業者等と連携し、事業の周知に努め、整備要望の掘り起こしに努めてまいります。
6	5-1-1	地域水源林保全・再生事業 〔事前調査 4.0ha〕	森林整備対象区域において、目標どおり間伐及び枝打ち等の森林整備実施のための区域測量(3.53ha)、森林調査を完了することができた。なお、面積の減少は、公簿面積と実測との差により生じたものである。	A	計画どおり進められており、引き続き水源環境の保全・再生に向け、着実な取組を期待する。	A	水源環境の保全・再生を図るため、引き続き、適切な森林整備の実施に努めてまいります。

評価区分 S: [事業完了]最終目標を達成済み A: [予定どおり]年度別目標を達成 B: [やや遅れ]年度別目標の80%以上達成 C: [遅れ]年度別目標の50%以上80%未満達成 D: [大幅遅れ]年度別目標の50%未満達成 E: [未着手]事業を実施していない

【重点事項その2】6事業

シートNo.	事業コード	事業名	事業所管課による評価		審議会からの評価及び意見		審議会からの意見に対する 事業所管課の対応
			主な取組・実績	評価	事務事業に対する意見	評価	
7	3-3-1	市民協働推進事業 (森林づくり活動推進事業)	自遊クラブと協働し「森林活用モデル検討事業」として、(仮称)相模原市市民の森予定地を対象とした活動プログラムの検討を行ない、第一回目の活動プログラムを実施し、18名の参加を得た。		団体と協働した取組がなされており、引き続き(仮称)相模原市市民の森の整備に向けて、市民の森クラブにおいて森林体験活動プログラムの充実などに取り組まれたい。		引き続き、団体と協働しながら、市民の森クラブにおいて、森林体験活動プログラムの充実に取り組むとともに、森林ボランティアなど森林整備の担い手の増加に向けて取り組んでまいります。
8	4-1-1	津久井産材利用拡大促進協議会の設置・運営支援	津久井産材の知名度の向上や流通の活性化などを中心に、計3回「津久井産材利用拡大協議会」が開催され、支援を行った。津久井産材のブランド化については、協議会によって産地証明制度の運用が平成29年6月1日から開始された。		引き続き、協議会への支援を通じ、津久井産材の利用拡大に向けた協議と取組を期待する。		引き続き、協議会への支援を通じ、津久井産材のブランド化や利用拡大に向けた取組を進めてまいります。
9	4-1-2	公共建築物等への利用促進	・麻溝小学校(南区下溝)、青根複合施設(緑区青根)、麻溝まちづくりセンター・公民館(南区当麻)等 ・協働事業により、市内モニターに津久井産材製キエーロ(木製の生ごみ処理機)を30台設置。 ・津久井産材製品フォトギャラリーを更新し、市ホームページで利用拡大を図った。		市全体で取り組まれており、実績は評価できる。引き続き、積極的な利用に期待する。		引き続き、公共施設への積極的な利用促進を図るほか、民間施設への利用についても機会を捉えて呼び掛けてまいります。また、市ホームページなどを通じて、津久井産材のさらなるPRに取り組んでまいります。
10	4-1-3	地産地消の促進	津久井産材の流通促進のため、津久井産材利用拡大協議会において、産地証明制度を整備し、平成29年度6月1日から運用を開始した。 また、地域材を利用した木造の長期優良住宅、ゼロ・エネルギー住宅及び認定低炭素住宅並びに認定低炭素建築物等の一定の良質な建築物を補助対象とする「地域型住宅グリーン化事業」について、ホームページ等を通じて、情報提供を実施した。		地産地消の着実な取組が行われていることは評価できる。今後、さらに地産地消を促進するため、津久井産材の使用に対するインセンティブについても検討されたい。また、他の部局や団体などと連携した地産地消への取組についても検討が望まれる。		地産地消の促進に向けて、森林環境譲与税を活用したインセンティブのあり方について、検討してまいります。また、他の部局や団体などと連携した地産地消の取組についても検討を行ってまいります。
11	4-1-4	再生可能エネルギーの利用促進	「津久井産材利用拡大協議会」において、木質資源の有効活用の観点から、木質バイオマスとしての燃料利用の可能性などについて意見交換を行った。また、「さがみはら地球温暖化対策協議会」において、相模原市の森林資源利活用に関する情報収集、再生可能エネルギーの活用について議論を行った。		引き続き、津久井産材利用拡大協議会とさがみはら地球温暖化対策協議会の両協議会と連携しながら、相模原市の自然的特性を生かしたエネルギー資源の利活用の検討に取り組まれたい。		相模原市の自然的特性を生かしたエネルギー資源利活用策について、引き続き両協議会と連携しながら意見交換や検討などを行ってまいります。
12	4-1-4	木材の多様な利用のための技術・商品開発の促進	津久井産材利用拡大協議会において住宅用材以外への木質バイオマス利用の可能性などについて、検討を行った。		木質バイオマス利用も含めた、商品開発については、引き続き関係事業者等と情報共有を図りつつ、検討を進められたい。		引き続き、津久井産材利用拡大協議会など、関係事業者等と連携しながら、商品開発の検討などに努めてまいります。

【重点事項以外】38事業

特に意見の付された事業はなし

<参考>重点事項以外の38事業の名称一覧

シートNo.・事業コード	事業名	26-3-1-2 地域資源の発掘と磨き上げ	39-3-1-2 地域別観光振興推進事業
13-1-1-1	森林情報サイトの運営	27-3-2-2 都市と自然を生かした新しいツーリズムの推進	40-3-1-2 「ハイキング・ウォーキングのまち相模湖」事業
14-1-2-1	市民協働推進事業(森林づくり活動推進事業)	28-3-2-2 地域と人をつなぐルートづくり	41-3-1-2 ハイキングコースパトロール
15-1-2-2	市民協働推進事業(森林づくり活動推進事業)	29-3-2-2 市民との連携による交流プログラムづくり	42-3-2-1 里地里山保全等促進事業
16-2-1-1	林業団体助成事業(森林組合補助金)	30-3-3-2 市民協働推進事業	43-3-3-1 地域活性化事業交付金交付事業
17-2-1-1	体験学習推進事業	31-3-3-2 森づくりの推進及び保全事業	44-4-2-1 相模原市林業再生推進協議会
18-2-1-1	体験学習推進事業	32-4-2-1 施業集約化のための勉強会	45-4-2-2 路網整備推進事業
19-2-1-2	体験学習推進事業	33-4-2-4 かながわ森林塾	46-4-2-5 施業集約化促進事業
20-2-2-1	地域活性化事業交付金交付事業	34-5-2-1 有害鳥獣駆除等対策事業	47-5-1-2 森林所有者への意識啓発事業
21-2-2-1	市民協働推進事業	35-5-2-2 九都県市花粉発生源対策10か年計画	48-5-1-3 森林現況把握等推進事業
22-2-2-1	地域学習の推進	36-3-1-2 緑地保全用地購入事業	49-5-2-3 不法投棄対策事業
23-2-2-1	地域と人をつなぐルートづくり	37-3-1-2 森づくりパートナーシップ推進事業等	50-5-2-4 開発事業対策推進事業
24-2-3-1	地域活性化事業交付金交付事業	38-3-1-2 観光施設維持管理費	
25-2-3-1	津久井産材交換等委託事業		